

## 3-1

## 今後の産業振興に向けた基本理念

平成31年3月に策定された「第6次所沢市総合計画」（令和元年度～令和10年度）では、基本構想の中で将来の都市像を、「絆、自然、文化 元気あふれる『よきふるさと所沢』」とし、その実現に向けた産業・経済分野におけるまちづくりの目標を、『魅力・元気・文化を誇れるまち』としています。

この方針と本ビジョンの前期期間における取組を受け継ぎつつ、「人と人との絆、人と自然との調和、共生」の実現に向けて「ゼロカーボンシティの実現」及び「人を中心にしたまちづくりの推進」を念頭に、後期に本市が取り組むべき産業振興施策の基本理念は、前期と同様に以下のよう

活力ある産業と豊かな暮らしの融合で まちの魅力を飛躍させる  
ところざわ

本市は、首都近郊都市としての高い利便性と、武蔵野の面影が残るみどり豊かな自然とが調和したベッドタウンとして発展してきました。

しかし、人口減少時代の流れのなかで、地域の担い手・働き手である若者の減少や地域のにぎわいの縮小等の問題が顕著となっています。今後も市民が笑顔で住み続けたい都市として、また自然とも共生した都市として、持続的に発展・成長していくとともに、市民の豊かな生活を産業が支えるという視点を重視して成熟したまちづくりを第一に考え、更なる産業振興や雇用の場の創出により労働力人口を確保していく必要があります。

そのような中で、東所沢や所沢駅東口への企業進出、所沢駅周辺の再開発など、本市を取り巻く経済環境には大きな変化が生じており、本市が持つ優れた生活環境と豊かな自然環境、恵まれた交通環境は、労働力の供給源となるだけでなく、大消費地の近接性を生かした商品・サービスづくりを行うことができるなど、本市の産業振興を進めるうえで大きな強みとなっています。

こうした本市の特性や強みを生かして、農業・工業・商業・観光業等のそれぞれが地域資源を生かしながら各産業を有機的に結びつけることにより、新たな雇用の場や新しい事業活動等が生み出され、また、既存の中小企業や商店街など、今まで地域社会に根付いてきた企業が今後も継続的に発展することで、まちの魅力が一層高まっていくという好循環を目指します。

## 1) 人や企業が集まりつながる中から新たな魅力が生まれるまち

首都圏の中でも交通体系に恵まれ、豊富な住宅ストック、良好な生活環境や高度な都市機能を擁する本市は、暮らすまちとしてだけでなく、働く場としても、あるいは新たな事業を展開する場としても好条件が整っています。

このため、地域内外から多様な人・モノ・情報・企業が集まり、様々な場面でつながる中から新たな活動が生まれ、都市の魅力と活力がさらに高まり、それがまた新たな人や企業を惹きつけるという好循環が創出された、持続的なまちを目指します。

## 2) 革新性と創造性に満ちた活気ある事業活動が展開されるまち

比較的小規模な事業者が多い本市の地域産業が持続的に発展していくためには、多様化するニーズを的確に把握して新たな商品やサービスをスピーディに供給するなど、時代に即した事業活動を多角的に展開していく必要があります。

また、二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）など温室効果ガス（GHG）の排出量削減の取組が求められていることを踏まえ、事業者にとってメリットのあるCO<sub>2</sub>排出量削減の取組により地域産業の活性化につなげていくことも重要です。

このため、個性ある中小企業による積極的な新規分野へのチャレンジ、事業者同士の分野横断的な連携による革新的なイノベーションの創出、サプライチェーンによるCO<sub>2</sub>排出量削減など、創造性・先進性に富んだ活気あふれる事業活動が展開されるまちを目指します。

## 3) 多彩な地域資源が融合・連携し「所沢ブランド」を創造・発信するまち

本市には数多くの集客力のあるアミューズメント施設や文化拠点施設があり、首都圏でも有数の優れた自然資源、農村景観が残されています。

また、人が歩き、人が憩い、人と楽しみ、人との出会いを大切に、まちや広場、空間がいろいろな人を包摂し、人を中心に相関し合うことで創造性や発信力を磨き上げていくことも重要です。

このため、インバウンド需要はもとより、市内の魅力ある観光拠点や店舗、商店街への回遊性を高めるとともに、新たに創出される文化的資源との有機的な連携を図り、新しい所沢の魅力や文化、すなわち「所沢ブランド」を創造し、広く内外に発信していく、にぎわいあふれるまちを目指します。

## 4) 地域に根差した活力ある産業により暮らしの質が高まるまち

本市は首都圏にありながら良好な農地が残されており、食料品関連の事業所も多く立地していることから、大都市圏に住み、働く人々の「食」に対する多様なニーズに的確に応え得る素地を有しています。また、少子・高齢化が進むなか、地域社会に根差した小規模企業等がきめ細かいサービスを提供することにより、子どもから高齢者まであらゆる市民が安心して暮らせるまちづくりが進むことが期待できます。

このため、起業意欲・就労意欲のある人材を積極的に支援するとともに、多様な就労ニーズや労働環境の充実を図るなど、地域密着型の産業を支える人材の確保・育成を図り、産業がまちづくりとリンクしながら活性化することで、暮らしの質が高まっていくまちを目指します。



空からみた所沢市内の様子

